

科目群	科目区分等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の対象の 理解	家庭支援論	黒崎 資子	2年次	秋

授業のキーワード	家庭の機能・子育て支援・専門性
授業の概要	現代の多様な家庭の現状を理解し、家庭支援の意義や役割について考える。事例検討やグループワークを交えながら体験的な理解を深めます。活発で意欲的な参加やディスカッションが望まれます。また、学生の理解度に応じて講義を進めるので、内容が変更となる可能性もあります。
期待される学習成果（目標）	保育者として問題意識を持ち、保育場面で必要とする基礎知識や視点・姿勢を獲得する。保育者に課せられた家庭支援の責任や役割について理解できる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	家庭支援の意義と役割①	家庭の定義と概念	第9講	アセスメント	保育所支援におけるアセスメント
第2講	家庭支援の意義と役割②	家庭の変化、現代の家庭	第10講	家庭支援の視点①	保育所での関わりから考える
第3講	家庭支援の意義と役割③	家庭関係図（ジェノグラム）・家庭の理解	第11講	家庭支援の視点②	地域での関わりから考える
第4講	ライフサイクル	家族のライフサイクル・個人のライフサイクル	第12講	多様な支援①	障害・非行・不登校・いじめ
第5講	家庭を取り巻く社会状況①	子育て支援施策	第13講	多様な支援②	子どもの虐待・ドメスティックバイオレンス
第6講	家庭を取り巻く社会状況②	男女共同参画社会とワークライフバランス	第14講	多様な支援③	ひとり親・ステップファミリー
第7講	支援者に求められる専門性①	相談援助の基礎・資質向上のためのワーク1	第15講	家庭支援の課題・まとめ	子育て支援・家庭支援サービスの課題と展望
第8講	支援者に求められる専門性②	相談援助の基礎・資質向上のためのワーク2	定期試験		家庭支援の必要性について、それぞれの立場からの理解を問う。記述式。
評価方法	授業関与度（40%）、定期試験（60%）によって評価する。授業の関与度は、グループワークや発表等を積極的に行ったか、及びミニレポートの提出状況によって評価する。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
「児童の福祉を支える 家庭支援論」 吉田真理 萌文書林					